



第81号 春号 発行月:令和6年5月



和らっは

四天五寺和らぎ苑 季刊誌



展覧会 about me 7 ～“わたし”を知って～非言語のモノログ出展作品

2階入所ご利用者作品 テーマ ～ 春 ～



- もくじ
1. 施設長より新年度のご挨拶
 2. 新役職者のご挨拶
 3. 入所支援の今
 4. 編集長コラム



新年度のご挨拶

施設長 塩川 智司



若葉も爽やかに本年も、新年度を迎えることができました。和っはっはっ春号から新年度のご挨拶を申し上げます。

古今和歌集に『世の中に たえて桜のなかりせば 春のこころはのどけからまし』と、在原業平が歌っています。これは、世の中に、もしも全く桜がなかったなら、春を過ごす人の心は、ゆったりとしたのどかであろうに、という意味です。満開までが待ち遠しく、ようやく満開になったと思ったら雨や風ですぐに散ってしまう。短い開花の間、桜の花に一喜一憂して気持ちが落ち着かないものです。それならいっそ桜がなければ、という歌ですが、その言葉とは逆に、桜を愛でる気持ちの強さがひしひしと伝わってきます。

今年の桜前線はやや遅めで、各地に春の訪れを告げました。大阪の開花宣言は4月6日でした。毎年、入学式の辺りには桜は満開を過ぎ、散り始めているために、入学前に満開の桜の木の元にピカピカの一年生が記念撮影する姿を見かけたのですが、今年は入学式、始業式に満開の桜が彩りを添え、よろこびひとしおだったのではと思います。また、新型コロナウイルス感染症が5類に類型移行後初めての春となり、桜の名所では、堰を切ったように、春、桜を満喫しようと多くの人たちが寄り集まりました。続く円安のせいもあり、海外旅行が敬遠され、GW期間中は国内の民族大移動が予想されますが、せっかくの春の日、ゆったりとのどかに移りゆく季節を楽しみたいものです。

さて、春といえば、徐々に昼間が長く、夜が短くなり、草木の芽が萌始めます。別れもありますが、新しい出会いもあり、新しくスタートする輝き、エネルギーを感じます。楽しみは桜ばかりでなく、この季節になると気付かなかった木々が花を咲かせ存在を主張します。

わたくしごとですが、通勤時の楽しみが増え、一年でこの季節が一番好きです。いつもの通勤途上、それまで気付かなかった樹木の先に、花が付き始めます。コブシから始まり、モクレン、シロモクレン、そして桜、遅れてハナミズキと移り変わってゆきます。以前は、なにげに気付かず歩いていたのですが、気を配りつつゆっくりとした気持ちで歩いていると、今まで見えていなかった花に気付きます。最近も、富田林西口駅近くで桃色に咲くシデコブシを見つけました。少しほのぼのとした気持ちになりました（シデコブシ、どのような花かよければお調べください）。

忙しい毎日ですが、周りの気配を感じるゆとりを意識し、過ごしたいと感じる春の季節の移ろいです。われわれに必要なことは、まず使命感、ミッションです。ミッションとは、まず気付くこと、気付いて感じること、感動すること。感動とは深く感じてこころ動かすこと。そして行動すること。感じることができるこころの余裕、ゆとりが大切だと思います。利用者さんのちょっとした変化を感じ、行動することが大切と感じます。子どもたち、利用者さんたちに気を配り、微笑んでもらえるように心地よい環境を提供できるようミッションを遂行してゆきたいと思います。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

事務局長の挨拶

事務局長 西野 和秀



ご利用者様ご家族様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、4月1日付けで四天王寺病院から四天王寺和らぎ苑に事務局長として赴任しました。四天王寺福祉事業団で25年目を迎え、高齢者福祉、医療福祉を経験してきました。今後は四天王寺和らぎ苑でこれまでの経験を活かし、障がいのあるご利用者、ご家族を支えていけるように頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

在宅看護副部長の挨拶

看護副部長 加登 泉



新緑のさわやかな季節となりました。皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、温かいご支援を賜り感謝申し上げます。

この度、看護部副部長を拝命いたしました加登泉と申します。

ご利用者お一人おひとりを大切にして、安心して暮らしていただける支援に努めて参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新役職者のご挨拶

外来 川端未佳看護師長

4月から外来の看護師長を務めてさせて頂いております川端未佳と申します。ご利用者、ご家族、地域の方々の生活を共にご支援させて頂きます。どうぞよろしくお願ひ致します。

2階フロア 仲野君子看護師長

4月より2階フロアの師長をさせて頂くことになりました。仲野君子です。話しやすく、困った時に相談できる師長を目指し、笑顔を忘れず頑張りたいと思います。

よろしくお願ひ致します。

訪問看護 松原多香子 看護主任

4月より訪問看護の主任となりました松原です。

まだ訪問看護を始めたばかりで、管理業務ができるかどうか不安ですが、

ご利用者様やご家族がより良い在宅生活を送れるように頑張りたいと思います。

2階フロア 藤原義子看護主任

重心に携わったのが15年以上前、重心の看護がしたいと転職して経験は浅いですが、皆様と共にご利用様の「生活の質」向上の為に看護に努めていきたいと思っています。まだまだ未熟ですが、ご指導ご協力よろしくお願いいたします。

2階フロア 中村美和看護主任

いつもご利用者にとって、「生活を快適に過ごして頂くには何ができるのか」を考え勤務させて頂いています。ご利用者が笑顔でいると、こちら嬉しくなります。まだまだ未熟ですが、ご指導よろしくお願いいたします。

作業療法士 木村基リハビリ長

リハ部 OT の木村です。和らぎ苑をご利用される皆様にとってより良いサービスを提供できるよう、取り組んでまいります。また後輩たちへの知識と技術の伝承を行いながら、組織としてリハ技術の向上に努めてまいります。

理学療法士 大嶋志穂リハビリ長

リハビリテーション室の理学療法士の大嶋志穂と申します。この4月からリハビリ長を拝命致しました。外来や訪問でのリハビリと地域の保育所や支援学校等への訪問業務を行っております。どうぞ宜しくお願い致します。

2階フロア 中家秋支援長

4月から2階フロアの支援長になりました中家秋です。入職時から2階フロアに配属され早いもので11年が経ちました。初心を忘れず、これからも皆様と楽しく生活できればと思います。よろしくお願いいたします。

3階フロア 吾田崇支援長

和らぎ苑で、3度目の春を迎えます。今までの経験を糧に、試行錯誤しながら取り組んでいきます。今後も他職種の方々と協力し、より良い支援を目指して取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

3階フロア 今田憲宏支援長

今年度より3階フロアで支援長として努めさせて頂いています今田憲宏と申します。引き続き、ご利用者様の安全を守りながら、楽しい生活を過ごして頂けるように、頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

どうぞよろしくお願いいたします